

The image is a magazine cover for 'Career Vision Vol. 05'. The title 'Career Vision' is at the top left in large blue letters, with 'Vol. 05' below it. The subtitle '[キャリアヴィジョン]' is in brackets. The date '2013.12.3' is at the bottom right of the title area. The background features a grid pattern with various circular and oval frames containing text and photos of students. At the top right, there's a large blue frame with white text and a photo of a student. The bottom right corner shows a group of students standing together with text overlaid.

Career Vision

いよいよ3年生(2015年卒)の就活がスタート!

就勝実践CAMP

日程
11/1
(1日目)

採用試験を徹底的にシミュレーション。
3日間のプログラムに体当たりしてつかんだ! 内定のコツ!

就職活動解説会12月1日を目前に控えた11月1日～3日にかけて「就勝実践Camp」が開催され、3年生、約120名が参加しました。「就勝実践Camp」は年々、会場が大きくなり、3回目となる今年の会場は「ホテルコストモスクエア国際交流センター」。最初は緊張していた参加者たちも、ガイドンス、面接特訓、企業人事担当との交流会など、多彩なプログラムを経験して、就活への意欲をさらに高めました。この「就勝実践Camp」から、いよいよ就活へのカウントダウンがはじまります。



■就勝実践Campプログラム紹介

■就活の基本を知る 面接試験の3大ポイントなど、 基本をしっかりと意識する。



■クレベリン検査を体験 自分の性格の特徴は? 検査で分かる自分の傾向。



実践的なトレーニングで就活に自信。
就活では金融業界を志望しており、その目標を達成するため、本格的な面接練習ができる就勝実践Campに参加しました。言いたいことを意識して短くまとめるとか人にわかりやすく伝えるといった面接のポイントを実践的に学べたことが収穫です。最初はボロボロでしたが、個人面接やグループワークで少しずつ自分が進歩していくのを実感しました。

歩き方からお辞儀まで、
就勝実践Campで徹底指導。
(就活虎の穴道場↓を見てください)

第一印象で、内定を勝ち取る。ビジネスマナー対策

就活虎の穴道場

第5回 歩き方と座り方 入室してから

椅子に座るまでが勝負

選考試験は、会社の中に入室した時から始まっていますが、特に、説明会場に入った時のマナー、歩き方や座り方は、人物評価の中で高い比重を占めます。そこで、今回の「就勝実践Camp」では、入室の際の歩き方と座り方の特訓も行われました。



■ビジネスの実践知識を学ぶ 企業研究キーワード

企業活動で問われるコンプライアンス

VOL.
5

■知っておきたい 時事問題講座

2020年東京オリンピック開催

2020年の東京オリンピック開催が決定。日本のプレゼンテーション力が国際的に評価され、有名タレントの「おもてなし」が流行語になり、日本中が喜びに包まれました。1964年の東京オリンピックは「戦災復興」をうたい、戦後日本の復興のシンボルとなりました。2020年の東京オリンピックは、東日本大震災からの「復興五輪」をうたい、49年前に開会式が行われた国立競技場が解体されるのとともに、聖火台を石巻に移転しようという動きがあります。

■マナー1 入室の際の歩き方 美しい歩き方を修得

面接試験で大切なのは第一印象ですが、その決め手となるのが入室の歩き方です。床に敷かれた直線を目指し、美しい姿勢でまっすぐ歩く訓練を実施。自分が歩く様子をビデオでチェックして、再び挑戦。皆美しい歩き方のコツを掴めたようです。

■マナー2 座り方 時間が経っても脚を崩さない

美しい座り方のポイントは、背筋を伸びて、脚がきれいに揃っていること。特に、つま先まで揃っていることが大切です。

答え:ふしきれ(節操だった手)

■読めるかな? 漢検に挑戦!

節樽

ヒント:手が…
答えは虎の穴道場の下

就勝実践CAMP

日程
11/2
(2日目)

面接特訓 個人面接
本番さながらの模擬面接。この体験が内定獲得につながる。

「模擬面接は初めて」という人が多いのが、この「就勝実践Camp」の特徴。それだけに、最初は「緊張で固くなってしまう」という人も多いが、個別面接だけでなく、翌日の集団面接も含めると2回も模擬面接の機会があり、最後には、誰もが場慣れして、大きな成長をさせてくれます。企業の人事担当者の適切なアドバイスも聞けるので、参加者たちは、自分の欠点をどんどん修正していきます。



就活の遅れを取り戻せました。

●小松 優子さん 経済学部3年生
奈良県立奈良北高等学校出身
就活の準備が遅れていたので、9月まで資格取得に取り組んでいたのですが、面接や就活の準備が遅れた分、短期間に面接や就活の準備をしました。キャンプで格段に人に多く参加しました。コミュニケーション能力で自己PRしました。挑戦心で、小学校から柔道をはじめ、いつか黒帯を取ろうが決めて、高校で取ったことです。コミュニケーション能力で留学へ向けて、海外での人生で何をしたいのか、アドバイスをもらいました。自分自身で、企業のHPを見直すことができました。

このキャンプが就活のスタート!
●森 一輝さん 経済学部3年生
滋賀県立島高高等学校出身
就活に対する不安がありいろいろチャレンジしようと参加しました。私はネイティブなところから話し始めてしまいましたが、同じことを言ううちにポジティブな言葉回しができるようになると、自分でも自信がついてきました。アドバイスをいただき、自分の性格を見直すことができました。

ポジティブな言葉回しで性格改善。
●高木 大輝くん 経済学部3年生
大阪府立美原高等学校出身
就活に対する不安がありいろいろチャレンジしようと参加しました。面接への不安が一番大きいですが、2回目の個人面接で企業の方から「自己PRをしっかりした方がいいです」と貴重なアドバイスをいただき、自分の性格を見直すことができました。

自分の課題がハッキリしました。
●櫻本 英典くん 経済学部3年生
愛知県愛知高等学校出身
接客業に就きたいと思いながら、就活の準備はしていませんでした。このキャンプで参加してきました。今までやっていなかった取り組みになりました。私はネイティブなところから話し始めましたが、同じことを言ううちにポジティブな言葉回しができるようになると、自分でも自信がついてきました。

学生Voice
櫻野理沙さん
法学院3年生
大阪府立大和川高等学校出身
(現大阪府教育センター附属高等学校)

■グループワーク チームの中で果たした役割。 それがグループワークのチェックポイント。

面接試験の一つにグループワークがあります。今年のグループワークは、各自に配られたカードに記された断片的な情報から課題の情報を求めるゲーム、チームで图形を完成させるゲーム、マッシュマップ、チャレンジなどが行われました。情報を見る能力、情報の優先順位を決める力、共同作業の遂行力など、チームでの働きによって、その人の人間性が多面的に評価されます。

77センチのマッシュマロタワーが完成!

協定留学でロンドン大学に留学した経験から、文化的な違いや意見の違いを尊重する姿勢が身につきました。その姿勢が、今回のグループワークで活かされて、みんなの意見をまとめるサポート役に徹しました。その成果が出たのが、マッシュマロ・チャレンジです。77センチの高さで上位になりました。

■進路獲得決意の集い 人事担当者の本音がもっと聞ける交流会。

日頃、接する機会のない企業の人事担当者の方と、個別に話をして親しくなる絶好の機会である交流会。多くの学生が、企業の方々と名刺交換したり、積極的に話しかけたりして、就活へのモチベーションを高めています。

企業の方と、しっかりトークできました。

女性の人事担当の方に話しかけて、ビジネスメールについてアドバイスをしていただきました。周囲の皆さんも、積極的に企業の人々にアプローチして、就活への意欲を刺激されました。今、行政書士試験合格を目指しており、将来は、法律事務所などで働きたいと思っています。

■企業人事担当者本音トーク 採用したい人、採用したくない人、その分かれ目は?

優良企業5社の人事担当者が、「どういった人物を採用したいのか」「面接のチェック・ポイント」「自己PRのポイント」などについて、一問一答で答える本音トーク。「最初の挨拶が8割」。自分がどういる人間が分かる自己PRなどを、採用選考の手法が休み隠さず語られました。

●株式会社コーエー
管理本部人事課係長 下中貴美子氏

●株式会社スズキ販売
営業推進企画課係長 西尾公秀氏

●大阪石材工業株式会社
総務課係員 野金孝恵氏

●株式会社ワントライニング
人事担当責任者代理 和田英樹氏

身だしなみにきちんと使っていけることは自然として、一緒に仕事をしたくなる人物かどうかを決め手にしています。

人と接する仕事
がしたいというだけで、会社の目標に向かってチャレンジしたい
というギラギラしたもののが欲しい。

当社を覚えるなら、なぜ外食産業なのか、他企業になくて、当社だけにある特長を捉えた明確な志望理由を聞かせてください。

就勝実践CAMP

面接特訓・集団面接・グループディスカッション

日程
11/3
(3日目)

面接特訓・集団面接・公務員志望

■面接特訓 集団面接(一般企業志望)

面接官はあなたの“ここ”を見ています。
個別のアドバイスがたっぷり。

グループ面接では6人の学生が一度に面接する形式で行われました。1分間の自己紹介から始まり、大学時代にやり遂げたことなど、与えられたテーマにそって自己PRをしていきます。グループ面接で大切なのは、自分の話に夢中にならず、簡潔に話すことです。また、他の学生が話をしている間の姿勢やしぐさも観察されています。

●矢倉一生くん
法学院3年生
大阪府立かわち野高等学校出身

この就勝実践Campで、何を自己PRしたらいいのか分からりました。インターナーシップ後に販売士3級を取得して、インターをさつきに自分自身を高める努力をしていることです。

■面接特訓 集団面接(公務員志望)

公務員志望者は、
自分の考えを語る訓練を。

公務員志望者を対象にしたグループ面接では、公務員採用試験などで質問が続きます。「新聞をじっくり読みなさいか?」「最近関心を持った事題は?」など、ごく一般的な質問にも、しっかりと自分の意見を述べる訓練を日頃から積んでおくことが大切です。他の学生たまたま同じ意見の場合でも、気にせずに、自分の意見を述べましょう。

●大野真実さん
法学院3年生
大阪府立農芸高等学校出身

1年生からSコースの公務員講座で学んできました。

第一の志望は警察官で、警視庁にて、大阪府警を指していきます。高校3年生のときに、被害者にあった女性の力になれる仕事をして、弓道部に入り、警視官になるための体力を鍛え、授業にもしっかりと取り組んでいました。面接試験では、文武両道をアピールしていました。

●深瀬 潤
キャリア支援部長代理、
経済学部教授

私の座右の銘

「守破離」

自分流の仕事(離)は、基本の習得(守)、改善の工夫(破)といった習熟段階を経て確立されるという教え。